



**岩屋ダム利水貯水量 6,190万トン (貯水率100%)**

**農業用水取水量 848万トン (取水率20%)** (ともに6月10日現在)

田植えもほぼ終わられて、利水者の皆様方には忙しい農作業も一段落のことと思います。早苗の緑が連なる田んぼからは力エルの大合唱が聞こえてきます。稲刈りのすんだ乾いた田んぼの中で冬眠していたのが、春になって土を起こされ、たっぷり水が張られて、驚いて現れたという感じでしょうか。そろそろホタルも出てきそうですね。子どもの頃ほど見かけなくなり、危機感みたいなものを感じますが、自然の声に耳を傾ける、これも大切な共生というものです。農業の多面的機能の一面を考えさせられます。

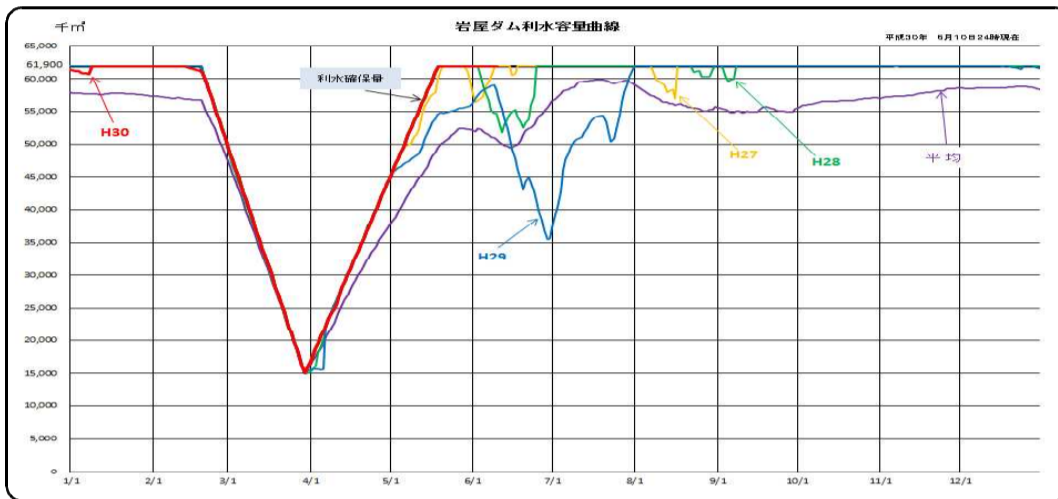
さて、これから本格的なかんがい期が始まり、水の需要も増してきますが、水源地である岩屋ダムの利水貯水量は、5月の降雨量が平年を上回る状況(120%増)であったこと等から、6月10日現在、6,190万トンと100%の貯水率となっています。

東海地方も平年より2日早く、去年より15日早い、6月6日頃に梅雨入りしたと見られるとのこと(名古屋地方気象台発表)。

引き続き、今後の気象、貯水状況には注視していく必要がありますが、この時期には少しでも梅雨の天の恵みを感じつつ、“東海のみずがめ”といわれる岩屋ダムには、その役割に大いに期待したいと思います。

一方、農業用水取水量は、6月10日現在、848万トン(取水率20%)で、過去3か年の平均取水量より95万トン程少なくなっています。

右岸用水における農水の年間総取水量は4,190万トンと定められています。そのため河川、ため池等の地区内水源を最優先に利用していただくとともに、降雨時には給水栓を閉めていただき、右岸用水の有効活用にご協力をお願いします。



### ◇定期監査を実施◇

5月18日(金)、木村総括監事、臼田監事、小栗監事による定期(中間)監査が連合事務所にて執行されました。今年度の「監査計画について」を原案通りお認め頂いた後、昨年12月から今年4月までの新旧年度の出納検査が行われ、諸帳簿の整理状況や証拠書類との照合等、終始熱心に審査され、“特に指摘事項なし”とお認め頂きご承認を得ました。監査終了後には、(独)水資源機構により建設された阿木川ダム(恵那市)を視察し、担当者からダムの目的、構造、設備、その他イベント情報から水管理の制御方法等についてまで懇切丁寧なご説明を頂き、有意義に研修を終えることができました。



審査風景(着席者 左から木村総括監事、臼田監事、小栗監事)



阿木川ダム管理所の宮本所長代理からダムの諸元、水管理の制御方法等について説明を受ける。



### ◇空気弁の取替工事を実施◇

山之上支線(山之上町)の水管橋に設置された空気弁に漏水箇所が発見されたため、緊急に交通規制等を行って取替補修工事を実施しました。漏水原因は補修弁のクラックによるものでした。新たに凍結保護カバーを取り付けて空気弁取替工事は完了しました。



### ◇《中干し節水》実施にご協力を！◇

各土地改良区より、利水の皆様方には《中干し節水》実施についてのお願い文書が配布されていると思いますが、右岸用水の有効利用と過剰分けつを抑制し、根を活性化させて倒伏しにくい丈夫な稲を作るためにも《中干し節水》の実施にご理解とご協力をお願いします。

早 植 え 田	中 干 し	6/20~6/24 (5日間)	美濃加茂市・坂祝町・富加町・七宗町・八百津町・関市
		6/25~6/29 (5日間)	川辺町
普通 植 え 田	早期中干し	6/25~6/29 (5日間)	川辺町

(注) 区配布ピラと日程の相違がある場合は、区配布ピラの日程で実施して頂きますようお願いいたします。